

第5回「原子力フォーラム茨城」の開催報告（概要）

原子力国民会議茨城支部設立5周年記念事業としてGX（グリーントランスフォーメーション）実現に向けて、「エネルギー安全保障と原子力の人材育成」をテーマに第5回「原子力フォーラム茨城」が開催されました。第1部は基調講演とパネルディスカッション、第2部はレセプションであり、それぞれ約200名、約70名が参加しました。

・日時：令和5年7月22日15:00～17:20（第1部）

・場所：水戸三の丸ホテル

・プログラム

○基調講演 GXの展望と原子力の課題等について

講師 衆議院議員・自民党総合エネルギー戦略調査会部会長額賀福志郎氏

○講演 今後の政局と安全保障について

講師 産経新聞論説委員兼政治部編集委員阿比留瑠比氏

○司会 原子力国民会議事務局長播摩奈津子氏

・パネルディスカッション

テーマ：エネルギー安全保障と原子力の人材育成

パネラー

○額賀福志郎 衆議院議員・自民党総合エネルギー戦略調査会部会長

○阿比留瑠比 産経新聞論説委員兼政治部編集委員

○下路健次郎 茨城県議会議員・原子力政策研究会会長

○飯田 英樹 茨城県町村議会議長会会長・大洗議会議長

○萩谷 弘通 原子力施設運転保守会社経営者

○大津 乃亜 原子力技術者

司会 檜山敏明元九州大学教授・原子力国民会議理事

・主な成果：

① 第1部の参加者は一般市民26%、協賛企業20%、法人等19%、議員13%、その他の順でした。地域別にみると水戸市・東海村・大洗町が各20～25%、ひたちなか市13%、日立市・鉾田市・那珂市が各2～3%、その他県内外12%であり、会員と非会員はほぼ同数、女性の参加者は11%でした。このように参加者の職業と地域の分布がこれまでより広がり、今後の会員の拡大や開催地の選定の参考になりました。

第2部の参加者は地域の議員、日本原子力研究開発機構をはじめ関連企業、原子力国民会議会員が参加し、原子力の将来像などの意見交換と懇親の機会となりました。

② 当日配布されたパンフレットに地元選出の国会議員と立地地域・隣接地域

の市長・町長7名から寄せられたメッセージは、原子力に対する一般市民の声であり、支部活動の参考となりました。

- ③ 立地地域の議員、ジャーナリスト、企業経営者・技術者が参加したパネルディスカッションでは、茨城支部が主催する「原子力大学校（仮称）設立実現に向けた検討会」の参考となった。